



平成21年5月8日

各位

会社名 明星工業株式会社
代表者名 代表取締役 大谷 壽輝
(コード番号 1976 大証第1部)
問合せ先 取締役財務部長 印田 博
(TEL 06-6447-0275)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社グループは平成20年度を初年度とする前回中期経営計画(平成20年4月1日～平成23年3月31日)を平成20年5月12日に公表しております。

計画初年度につきましては下記のとおり概ね達成することができました。

(前回中期経営計画・初年度数値計画と実績) (単位:百万円)

	平成20年度	
	計画	実績
売上高	47,000	47,288
営業利益	4,600	5,082
経常利益	4,450	4,821
当期純利益	4,150	4,262

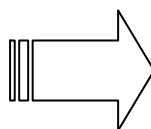
昨年の米国金融危機に端を発した世界的な景気後退は、急速に生産・雇用調整を余儀なくされ、国内外の設備投資についても、縮小・延期等、少なからず当社グループの事業環境に影響を与えることが想定されます。

上記の状況を踏まえて、当社グループは経営目標を見直し、新たに平成22年3月期を初年度とする3か年の中期経営計画(平成21年4月1日～平成24年3月31日)を策定しました。

1. 基本方針

《 経 営 理 念 》

顧客の創造と信頼の確保
社会への貢献
未来への挑戦



《 行 動 指 針 》

改革、スピード&チャレンジ

「激動期への挑戦」のスローガンのもと、「改革、スピード&チャレンジ」を行動指針として、企業価値の向上を目指すとともに、社会の要請でもある透明性の高い経営を心がけ、事業を通じて社会に貢献いたします。

2. 経営環境

当社グループ事業を取り巻く環境は、昨年のサブプライムローン問題発生以降、世界的に拡大した金融危機に伴い、実体経済への悪影響が想定以上の速さで拡がり、当社グループ事業の需要についても、国内では民間設備投資の減少、延期、海外ではエネルギー資源の需要停滞によるプロジェクト案件の計画見直し等、厳しい状況に向かっていくことが予想されます。

上記の状況の中、中期経営計画の見直しを行いました。今後、継続的に利益を確保し、将来の経営基盤を強化することにより、「強い会社への変革」へのステップアップを図る所存です。

計画の概要は前回計画と大きな変更はありませんが、市場の変化に的確に対応して、諸施策の実行に努めます。

3. 計画概要

①各事業領域連携による収益基盤の強化

国内市場においてはメンテナンス工事に更に注力し、顧客の満足度を高める工事施工体制をもってシェアの維持・拡大を図り、需要を創出する受注施策の展開を行います。

また、各事業領域間における連携を強化し、相乗効果の推進を行います。

②海外地域における収益基盤の強化、拠点の充実

各拠点の地域マーケットを意識した事業展開により拠点の充実を図るとともに、プロジェクト案件の受注の確保を目指します。

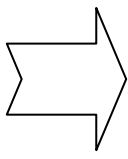
③人材の活用・育成

人材の活用、育成に努め、将来に向けての事業基盤を強固にするため、人的資源の有効かつ効率的な組織体制を構築します。

④財務基盤の充実

有利子負債の圧縮については継続的に推し進め、財務体質の充実を計り、資産効率を高める新たな成長への投資についても経営資源を考慮しながら取り組みます。

4. 数値目標（連結業績）（単位：百万円）

	平成 21 年度		平成 23 年度
売上高	42,500		47,000
営業利益	3,800		4,700
経常利益	3,700		4,700
当期純利益	3,450		3,000

当社グループは受注産業でありますため、収益の見通しは容易ではありませんが、この厳しい経営環境の中にあっても収益確保の施策を着実に実行して、ステークホルダーの皆様方への期待に応えてまいります

以 上